

能登半島地震

練馬区では義捐金を送ると共に
2回の現地視察を行いました

2007年5月
練馬区防災課 作成
禁無断転載

被害の概要

- ・発生日時 平成19年3月25日午前9時42分
- ・発生場所 能登半島沖 輪島西南西40キロ
- ・深さ 11キロ
- ・地震の規模 マグニチュード6.9
- ・震度 震度6強=七尾市、輪島市、穴水町
震度6弱=志賀町、中能登町、能登町
震度5強=珠洲市
- ・余震 震度5弱が3回、震度4が4回

地震の規模のわりに犠牲者が少なかったのは、日曜の午前中だったこと、お祭りで外出していたこと、人口密度が少なかったこと、地域のつながりが強かったことなどが指摘されています。



3/26輪島市門前町道下(とうげ)地区。大きな製材所の屋根がすべて落ちている。

被害の大きかった輪島市とは？
平成18年2月1日に輪島市と門前町が合併

人口

新市	旧輪島市	旧門前町
約34,000人	約26,200人	約7,800人

職員数

合計	旧輪島市	旧門前町
711人	551人	160人

練馬区の人口の5%

被害の状況(石川県のみ) 平成19年4月12日現在

	人的被害(人)			住宅被害(棟)		
	死者	負傷者		全壊	半壊	一部損壊
		うち重症				
七尾市		114	7	38	55	591
輪島市	1	92	12	433	677	5,851
志賀町		45	4	8	69	455
穴水町		39	0	65	85	290
能登町		12	1			46
その他		7	2	9	15	156
石川県計	1	309	26	553	901	7,389

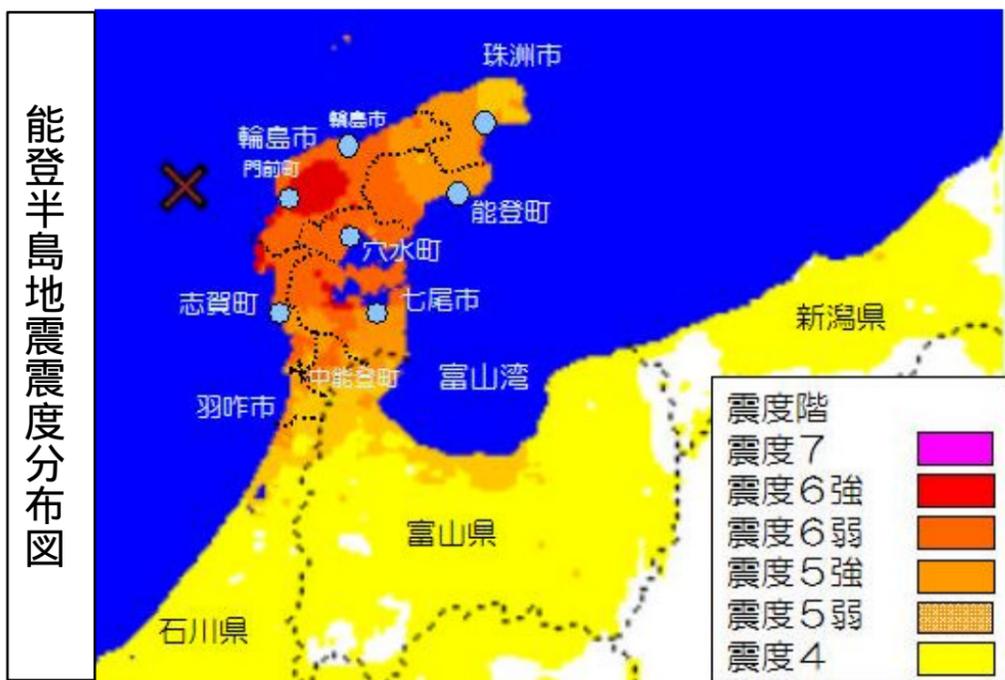
(石川県HPから)



3/27門前町道下地区。原型をとどめていない民家。この地域の住宅の多くが被害を受けている。

地震の凄まじい破壊力を視察することができました。

被害の大きな地域でも、最近、建てられた新しい住宅や、古くても常に手入れをしている家屋では、被害は少なかったようです。みなさんのおうちは地震に対応できるようになっていますか？



人的被害

死者は、旧輪島市の市街地において、52歳の女性が自宅内の灯籠の下敷きになったもの。

住宅被害

限られた地域に集中している。

- ・輪島市門前町(道下、総合支所周辺)
- ・穴水町の一部 など

ここで、被害を受けた住宅の主な特徴

- ・建築年代の古い木造家屋
- ・店舗併用住宅(1階が店舗、倉庫や車庫など)で、前面の道路と平行する壁が極めて少ない(開口部が大きい)
- ・能登瓦(粘土で固定。積雪、風に耐えられるように重い)
- ・腐食、シロアリによる被害(手入れをしていない)



3/27門前支所内。役所も被害者になっている。



3/27門前町道下地区。住宅の中の凄まじい様子。



4/4穴水町の仮設住宅建設現場。